

# 山東民報

3月  
市議会  
報告

## 市長選・国保県一本化・就学 援助制度で市政を質す

### 国保特別会計・三島荘廃止で反対討論

#### 藤田議員の一般質問

#### 市民の声に込めよ

今回の市長選で、大変気になったことは、異常な投票率の低下です。前回の市長選挙より10%以上投票率が低下しているという点です。前々回の市長選挙より17%低下しているという点です。

Q この投票率の結果について、市長の考えは。

A、争点が明確にならず、有権者の関心が集められなかった。真摯に受け止めたい。

Q、今回の投票率では山東伊吹地域は14%投票率が低下している。このような結果になった理由は。

A、前回は議員補欠選挙があった。

Q、多くの人から「今回の選挙は行くか行かないかで迷った。今回の選挙結果で、米原駅東口の統合庁舎が信任されたと思われることが悔しい。是非住民投票を考えてくれ。」との声を聞いた。市長は任期中に常設型の条例制定を約束されています。なぜ条例制定がなされなかったのか。

A、前任期中に議会での議論を尽くすことが困難と判断した。

Q、市民の声に込めて、庁舎問題で住民投票をおこなうことについての考えは。

A、庁舎位置条例は住民投票になじまない。議会での議決を尊重したい。

#### 国保統一化について

Q、県の国保税の統一化方針についての市の考え方は。

A、一定の評価をします。しかし市の独自の経営努力に向けた意欲が損なわれる可能性があります。

Q、統一保険料となれば、市町の賦課決定権や予算決定権が侵害される恐れがあり、また基金の運用や一般会計繰入、減免等も市町独自の措置に対して県が介入してくる恐れがあります。

あります。このことについて。

A、市の独自性をどのよう確保していくのか、議論を深めていきたい。

Q、県単位になることから、国保事業費の納付金(市町が県に納めるべき金額)に対する標準保険税が計算されている。この結果は。

A、1人当たり12万303円です。

Q、このシミュレーション結果を米原市の保険税に反映させるのか。

A、平成30年度に示される算定を基準に、国保運営協議会で検討します。

Q、所得減少等に対する減免基準。以前の議会で「今後、検討していく。」と答弁されています。検討結果について。

A、過渡期にあることから慎重に見極めたい。

#### 入学準備金の倍引き上げ

Q、以前就学援助で「要保護児童生徒援助費」が現実と乖離していると質問しました。入学準備金について、2017年度から小学校は40,600円、

中学校47,400に引き上げるとの報道がなされています。市基準の準要保護世帯はどうなるのか。

A、国の基準どおり、引上げます。

Q、「就学援助」の支払い時期について、多くの自治体が入学前支払いなどに踏み込んでいます。再度支払時期の改善について当局の見解は。

A、入学準備金については、早期支払いの自治体も出てきている。どのような手法がとれるのか、研究します。

4月3日新聞折込の日本共産党市議団の市民アンケートにご協力下さい。

米原市市会議員  
藤田正雄

55-1128

<http://www.jcp-mabarashigidan.com>



# 国保予算、三島荘 廃止条例で反対討論

藤田市議は、3月議会です次の反対討論を行いました。

## 国保税1万3千円／人の引き下げは可能

2018年4月から国民健康保険の保険者は、県となり、財政主体は県一本となります。しかし保険税の賦課徴収の権限はあくまでも市町の権限として残ります。その中で、市町は県から示される、国保事業納付金を納めれば良いということになります。米原市の納付金については、県で試算が行われた金額は、1人当たり120,303円となったと回答がありました。米原市の平成28年度の平均保険税額が133,180円となっているので、その差額は12,877円

であり、この基準から言えば、現在の国保税が高すぎます。国保税を引き下げ、負担を少しでも少なくすることが、保険者としての米原市の役割だと考えます。

## 基金1億2千万円 国保引下げに活用を

一方、国保基金が、現在1億2千万円も積みあがっています。県が保険者となることから、市が基金を持つ意味もありません。高い保険税で積み上げた基金を活用して、保険税負担を減らすことが、今必要な施策です。このように将来的な見通しが立った中で、保険税据え置いた今年度の国保予算は賛成することができません。

## 山東福祉の拠点施設を

三島荘では、ボランティアサークルの事務局やボランティア資材が置かれており、また三島荘では、地域支え合いセンター事

業、ファミリースポーツセンター事業など市からの委託事業も行われています。また多くの災害を受けた地域では災害ボランティアの受け入れられるしつかりとした災害ボランティアセンターの必要性も強く求められています。今回、三島荘が廃止されることにより山東地区はルツチプラザの一室が移転先と聞いています。今回の移転により、ボランティアの会議室利用も自由にならず、ボランティア備

品の置き場所も不確実と聞いています。今まで多くの市民から、今まで米原、伊吹、近江地域にはしっかりとした地域福祉活動センターが設けられているが、山東には、十分な施設がない。何とかしてほしいとの強い要望を聞きます。ますます、地域福祉活動センターとは名ばかりの施設になってしまいます。市はこのような要望に添えて、米原市のボランティアセンターの在り方、また山東

議員名	会派名	2017年度一般会計 予算	2017年度国保会計 国保費	三島荘 廃止
太田幸代	共産党米原市議団	×	×	×
清水隆徳	共産党米原市議団	×	×	×
藤田正雄	共産党米原市議団	×	×	×
竹中健一	政策研究会マイバラ	○	○	○
中川雅史	政策研究会マイバラ	○	○	○
堀江一三	政策研究会マイバラ	○	○	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	○	○	○
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○	○	○
音居友三	創政クラブ	○	○	○
北村喜代隆	創政クラブ	○	○	○
中川松雄	創政クラブ	○	○	○
松宮信幸	創政クラブ	議長	議長	議長
的場收治	創政クラブ	○	○	○
前川明	創政クラブ	○	○	○
北村喜代信	清風クラブ	○	○	○
滝本善之	清風クラブ	○	○	○
鏑田明	清風クラブ	○	○	○
今中力松	無会派	○	○	○
澤井明美	無会派	○	○	○
結果		可決	可決	可決

の地域福祉活動の拠点施設について今後の方針を至急明らかにされることを強く要望し、今回の米原市ボランティアセンター三島荘条例の廃止に反対します。

## 雑感

3月議会初日米原市議会の定数についての採決があり議員定数を20人から18人に減らす条例が可決され、本年10月からの市議会議員選挙で適用されることになりました。議員定数が少なくなれば、市民の選択肢は狭くなり、議員と市民の関係はますます希薄となり、議会が市民の要求から遠いものとなってしまいます。また議員に立候補しようとする者も、組織や知名度が無ければ立候補は出来無くなってしまいます。また、議会の中で審議は、わずかな人数で議決されることとなります。市民の皆さんが強く求めておられる、無駄な予算の削減や議員資質の向上を求めておられることは十分理解します。が定数削減によって、最も身近な地方自治の原則である住民自らが参加する市政が損なわれることについては重大な問題として米原市議団は反対の立場を表明しました。